

enRoute D8T-2.4G・R8-2.4G 操作マニュアル V1.0

1. はじめに

enRoute D8T-2.4G は日本の TELEC（特定無線設備の技術基準適合証明）の認可を受けていますので電波法はクリアーしていますが、日本ラジコン電波安全協会の適合証明の取得は準備中です、ラジコン飛行会等での使用はお控えください。

D8T-2.4G はテレメトリー機能を持っていますが、エンルートでセット販売をしているテレメトリー機能の無い R8-2.4G 8ch 受信機での利用方法を説明しています。

2. 主な仕様

送信モジュール D8T-2.4G

重量：本体 27g アンテナ 9g

60mm X 37mm X 35mm(21mm)

動作電圧範囲：6.0V-13.0V

受信機 R8-2.4G

重量：14.5g

50mm X 25mm X 16mm

動作電圧範囲：3.5V-7.6V

3. 送信モジュールの設定

ディップスイッチの設定

右下のディップスイッチは以下の通りに設定します。

スイッチ1（下側） は OFF（右側）

スイッチ2（上側） は ON（左側）

フタバの送信機で使用する場合は送信機の設定をPPMモードに設定してください。

4. 送信・受信機のバインド方法

送信モジュールのディップスイッチの上にあるボタンスイッチを押しながら電源をONにします。赤LEDが点灯したらボタンスイッチから手を離します。

赤LEDが点灯から点滅に変わり、バインドモードになります。

次に、受信機の F/S スイッチを細いドライバー等で押しながら受信機の電源をONにします。

バインドが成功するとすぐに受信機の赤LEDが点滅します。
これでバインドは終了です。受信機、送信モジュールの電源をOFFにします。
再度、送信モジュール、受信機の電源をONにします。
受信機の赤LEDが点灯すれば、送信モジュールの電波を正しく受信しています。
電波を受信できない場合は赤LEDがゆっくり点滅します。

5. フェールセーフ設定方法

送信モジュールの電波が受信できなくなった時に各チャンネルの位置を受信機に記憶させます。

通常、スロットルは最スロー、エレベーターは中立、ラダーやエルロンはゆっくり旋回する位置、機体発見ブザーがある場合はブザーが鳴る位置に設定します。

送信・受信機の電源をONにし、送信機のスティック、スイッチを上記の位置にセットします。

受信機のF/Sスイッチを細いドライバー等で短く（1秒以内）押します。

これで設定が終了しました。送信機のスティックを別の位置に動かしてから、送信機の電源をOFFにして、受信機がフェールセーフモードになり設定したとおりに動作することを確認してください。

4. 受信レンジ確認

FM送信機ではアンテナを伸ばさずに数十メートルの範囲でコントロールできる事で、受信機の感度を確認していました。

本送信モジュールでは以下の操作で受信機機能確認を行なってください。

- ・ 送信モジュールのボタンを4秒以上押し続ける。赤LEDが消えて緑LEDになる。これで送信出力が通常の1/30に減少します。
- ・ この状態で30m離れて普通に動作すれば、受信機感度は正常と判断できます。
- ・ 再度送信モジュールのボタンを押してください、送信出力は通常の出力に戻ります。

問合せ先

株式会社エンルート 埼玉県入間郡三芳町上富 867

TEL:049-293-4567 FAX:03-6203-8325

<http://www.enroute.co.jp/store/>

info@enroute.co.jp

enRoute D8T-2.4G は FrSky の OEM 商品で本マニュアルは FrSky 社の英文マニュアルを参考にしてデジタル工房ラボアール <http://www.laboar.com> が作成したものです。